

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
井原	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
矢掛	0	0	1	0	0	0	0	0	×	1

矢：花岡、森上 — 小池

文責：小野 愛友奈（普通科探究コース）

3年ぶりの決勝となった矢掛高校の先発マウンドには、準決勝で負傷交代となった1年生右腕の花岡（木之子中）が上がる。

- 1回表、井原高校の攻撃。怪我の影響が心配された花岡は、無難な立ち上がりを見せ、三者凡退。
- 1回裏、矢掛高校の攻撃。一死から大山（小北中）が四球で出塁し、盗塁も決める。次打者の三澤（真備東中）が犠打で送るも、後続が倒れ、先制点は奪えない。
- 3回表、井原高校の攻撃。先頭打者に左前打を放たれる。さらに犠打により塁を進められ、一死二塁のピンチとなるも後続を抑え、無失点。
- 3回裏、矢掛高校の攻撃。好投の花岡に代わり、代打：小川（真備中）が四球で出塁する。ここで代走：佐藤孝太（木之子中）が送られる。佐藤孝太は盗塁を決め、無死二塁のチャンスを作る。続く赤木（小北中）が放った犠打が悪送球となり、矢掛高校が優勝を引き寄せる1点を先制する。
- 4回表、井原高校の攻撃。ここで矢掛高校投手の変更。森上（総社西中）がマウンドへ。連投となった森上だったが、8球でこの回を終える。
- 5回表、井原高校の攻撃。森上の好投により9球で三者凡退に抑える。
- 5回裏、矢掛高校の攻撃。一死から、真砂（木之子中）が内野安打を放ち、さらに盗塁も決める。しかし後続が倒れ、追加点は奪えない。
- 7回表、井原高校の攻撃。一死から悪送球により、この試合二人目の走者を背負う。しかし、ここは小池が盗塁を刺し、ピンチの芽をつむ。
- 7回裏、矢掛高校の攻撃。先頭打者の猪原（高屋中）が左前打を放ち、盗塁も決め、追加点のチャンスを迎えるも、ものにできない。
- 8回表、井原高校の攻撃。井原高校は代打を送り勝負に出るが、2つの三振を奪いこの回無失点。
- 9回表、井原高校の攻撃。下位打線を三連続飛球に抑え、ここで試合終了。

矢掛高校は1－0で井原高校に勝利した。今回の試合では、前年制覇の井原高校を相手に互角の試合をみせ、3年ぶり5回目の優勝を勝ち取った。盗塁を効果的に織り交ぜ、チャンスを演出し、普段の練習の成果が見られた。今回の大会で得た経験や自信を糧に、夏の大会に向け今後に活かし強いチームになってほしい。

新チームの戦績

1 8 勝 2 敗 3 分